



No.309

2015年4月20日

発行 真宗大谷派 高山教務所

発行者 大町慶華

〒506-0857 高山市鉄砲町6番地

☎(0577)32-0776

*毎月20日発行 50,000部

三市一郡無料配布

印刷 山都印刷株式会社

念じられ 照らされて

西洋に広まる仏教

ケネス 田中



〔略歴〕
武蔵野大学教授・仏教教育部
長。国際真宗学会会長、日本
仏教心理学学会会長。アメリカ真
宗寺院の元住職。著書には「真
宗入門」「アメリカ仏教」など。

今年二月の上旬、高山別院で教化研究所の講師の依頼を頂き、かねてより訪れたいと思っていた飛騨・高山へ行くことができました。伝統民家建築や雪に囲まれた白川郷を楽しむことができ、家内と一緒に素晴らしい思い出の旅となりました。

しかし、一九五〇年頃のアメリカは仏教のことはよく知られておらず、一般の人の仏教認識といえば、「臍を眺めながら瞑想をするアジアのカルト」といった程度のものでした。

しかし、一九六五年ごろから仏教はアメリカで急速に伸び始め、今日、仏教徒の数は約三百五十万人に達し、これは全米人口の約一・二%にも相当するのです。キリスト教と比べれば未だ少数派ではありますが、過去五十年間で、仏教は十七倍も伸びてきました。この勢いで行けば、仏教は数十年後には、現在、人口の二%を占める、米国第二位の座にあるユダヤ教を追い抜く可能性さえ出てきているのです。

同じく、ヨーロッパで

パド大陸から西のヨーロッパではなく東へと進み、東洋全体の代表的な宗教となりました。つまり、仏教は「西洋の壁」を乗り越えられなかったのです。それが、やっとその壁を乗り越え、西洋の一般社会に浸透し始めているのです。

ところで、アメリカでは最も人気がある仏教の宗派は、瞑想が中心である禅と上座部とチベット仏教ですが、現在真宗へ改宗する人も以前より増えています。例えば、西本願寺所属の米国仏教団の開教使の約二〇パーセントは改宗者です。また、特に地方の比較的小さいお寺では、従来の日系人の仏教徒が減り、今では新しい体制が取られ、住職も白人、メンバーズ(門徒)も大半が白人と変化してきています。

私も子どもの頃はキリスト教会へ通っていましたが、「なぜ全能全知の神様がこんな問題だらけの世の中を作られたのか」という疑問が生じ悩んでいる所に、ご縁があつて、浄土真宗のお寺で納得できる教えに出会えたのです。子ども心にも仏教の寛容的な精神や「諸行無常」と「諸法無我」という教えは自然に受け入れられたのです。またその後、「愛欲の広海に沈没し、名利の太山に迷惑する」とご自身を悲歎された親鸞聖人の洞察力と謙虚さにも強く惹かれました。

お寺には、親鸞聖人の精神を拠り所として厳しい状況を生き抜かれた、一世や二世の方々がたくさんおられ、私は心からその先輩念仏者に尊敬の念を抱いていました。

このように遠い西洋諸国で仏教に惹かれる人がたくさんおり、今後も益々増えていくと確信しています。しかし、長い伝統を誇る飛騨地域の念仏者が、教えから遠ざかっていることは残念で非常にもつたいなく感じます。どうか、お念仏の宝が置き去りにされないことを心から念じております。

私は十二才の時、アメリカで浄土真宗に出会い、日系人によって建てられたカリフォルニアにある西本願寺のお寺に通い、真宗の環境の中で育ちま

この伸びは、仏教伝播史という観点から、画期的な意義を見出せると思います。仏教は発祥地イ

ンド大陸から西のヨーロッパではなく東へと進み、東洋全体の代表的な宗教となりました。つまり、仏教は「西洋の壁」を乗り越えられなかったのです。それが、やっとその壁を乗り越え、西洋の一般社会に浸透し始めているのです。

ところで、アメリカでは最も人気がある仏教の宗派は、瞑想が中心である禅と上座部とチベット仏教ですが、現在真宗へ改宗する人も以前より増えています。例えば、西本願寺所属の米国仏教団の開教使の約二〇パーセントは改宗者です。また、特に地方の比較的小さいお寺では、従来の日系人の仏教徒が減り、今では新しい体制が取られ、住職も白人、メンバーズ(門徒)も大半が白人と変化してきています。

私も子どもの頃はキリスト教会へ通っていましたが、「なぜ全能全知の神様がこんな問題だらけの世の中を作られたのか」という疑問が生じ悩んでいる所に、ご縁があつて、浄土真宗のお寺で納得できる教えに出会えたのです。子ども心にも仏教の寛容的な精神や「諸行無常」と「諸法無我」という教えは自然に受け入れられたのです。またその後、「愛欲の広海に沈没し、名利の太山に迷惑する」とご自身を悲歎された親鸞聖人の洞察力と謙虚さにも強く惹かれました。

お寺には、親鸞聖人の精神を拠り所として厳しい状況を生き抜かれた、一世や二世の方々がたくさんおられ、私は心からその先輩念仏者に尊敬の念を抱いていました。

このように遠い西洋諸国で仏教に惹かれる人がたくさんおり、今後も益々増えていくと確信しています。しかし、長い伝統を誇る飛騨地域の念仏者が、教えから遠ざかっていることは残念で非常にもつたいなく感じます。どうか、お念仏の宝が置き去りにされないことを心から念じております。

私も子どもの頃はキリスト教会へ通っていましたが、「なぜ全能全知の神様がこんな問題だらけの世の中を作られたのか」という疑問が生じ悩んでいる所に、ご縁があつて、浄土真宗のお寺で納得できる教えに出会えたのです。子ども心にも仏教の寛容的な精神や「諸行無常」と「諸法無我」という教えは自然に受け入れられたのです。またその後、「愛欲の広海に沈没し、名利の太山に迷惑する」とご自身を悲歎された親鸞聖人の洞察力と謙虚さにも強く惹かれました。

この伸びは、仏教伝播史という観点から、画期的な意義を見出せると思います。仏教は発祥地イ

要注意!

あなたは狙われている

大学などの新入生がいるご家庭へ

オウム真理教の事件から20年。カルト宗教は収束した問題ではありませぬ。今も様々な勧誘方法を駆使して、入信した信者に全てを委ねさせ、その人の自由な思考や判断を奪い支配しようとしています。その結果、家庭生活が破壊され、社会的立場が失われ経済的にも追いつめられるという事象が起こっています。

親元を離れて新しい学生生活が始まったこの時期、家やこれまでの友だちとも別れて一人不安も多い時でもあります。そんな時カルトは、とても優しく親しげに声をかけて友人関係を作りながら、言葉巧みに誘ってきます。その勧誘については、大学なども注意

意を呼びかけるので構内で誘うことは少なくなっています。現在はインターネットを介して新入生歓迎の催し、就活セミナー、ボランティアサークルなどの呼びかけや個人的接触から勧誘に入るケースが増加しています。

もちろん様々なサークルや活動への呼びかけがいつもカルトの勧誘であるわけではありません。肝心なことは、たまたま出会った誘いがカルトの勧誘であることに気づき、深みに嵌る前に引き返すことです。そのために必ず必要なことは、こうした問題があることをしっかり知っていただくことです。

真宗大谷派では、こうした問題を知っていただくために学生向けのパンフレットを用意しています。ご入り用の方は教務所までお問い合わせください。

カルト問題の詳細についてはこちら

飛騨の真宗 伝承散歩 ⑬ 庄川桜 高山市庄川町中野

一九五二(昭和二十七年)年、白川村・庄川村に御母衣ダムが建設されることが発表され、庄川村の中野の集落は湖底へ沈むこととなりました。中野の集落には、照蓮寺と光輪寺という真宗のお寺がありました。二つのお寺にはそれぞれ樹齢四百年は超すであろう大きな桜の木が植えられていました。集落が湖底に沈むことに伴い、照蓮寺は高山の城山に、光輪寺は関市に移ることとなりました。

電源開発会社の初代総裁・高碕達之助氏は集落を視察中、ふと光輪寺の大きな桜の木が目にとまりました。植物に深い関心を寄せていた高碕氏は「この桜を救いたい」と決心しました。

高碕氏は桜博士の笹部新太郎氏を訪ねました。樹齢四百年の木の移植に、笹部氏は難色を示しましたが、高碕氏の熱心な懇願を拒むことができませんでした。

一九六〇(昭和三十五年)十一月、桜の移植が始まりました。光輪寺と照蓮寺

の桜の木は可能な限り枝を落とされ、ダムの水面上に位置する丘に移植されました。しかし、幹だけがさらされた状態の桜に、本当に花は咲くのかと、人々は不安を隠せませんでした。

しかし翌年の春、細枝に芽が出て、ぽつぽつと花を咲かせました。一九六二(昭和三十一年)、水没記念碑除幕式にて、この二本の桜は「庄川桜」と命名されました。

今でも庄川桜は春になると美しく咲き誇ります。大型連休の頃に見ごろを迎え、多くの人でにぎわっています。



嘉念坊上人像と庄川桜

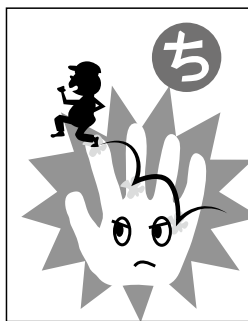
☎テレホン法話(0577)342313 ☎4月21日~30日:山本憲人氏「寶藏寺」 ☎5月1日~10日:五辻元駐在教導「教務所」 ☎5月11日~20日:内記流氏「往還寺」 宗教トラブル相談窓口(0577)13210763

家庭で悩む

女と男の

ナムアミダブツ⑦

藤場 芳子



ち ちよつと待って 私の予定は聞かないの？

ある引越し

この春、一人の女性が引越していきました。彼女は子どもに関するある団体に所属し、二人の子どもを連れて積極的に活動して...

引越しや転勤とまでいなくても、日々の生活では家族の予定が重なってしまい、やりくりしなくてはならないことが多々あります。そんな時、みなさんの家庭では誰が何を基準に決めてい...

かと思えます。

妻からの異議申し立て

引越しや転勤とまでいなくても、日々の生活では家族の予定が重なってしまい、やりくりしなくてはならないことが多々あります。そんな時、みなさんの家庭では誰が何を基準に決めてい...

今回の句は「ちよつと待って

私の予定は 聞かないの？」です。夫が妻の都合を聞かずに仕事や外出の予定を立ててしまうこと...

に対して、妻は「私にだって仕事や付き合ひがあるのよ」と異議申し立てをしています。夫は始めから聞く耳を持たないのか、妻にはそれほど重要な用事はないと思っ...

ているのか、スタコラさっさと自分の用事に向かって走り去ってしまう姿が描かれています。ちよつとへっぴり腰に見えるのは、後ろめたさがあるからなのかもしれません。残された妻の気持ちはどのようなでしょう。

他者優先

以前、女性の悩みや相談を聞くカウンセリングの仕事をしていて、人のお話を聞いたことがあります。その時、「女性は『他者優先』になり、自分のことは二の次、三の次になりがちです」という言葉が心に残りました。赤ちゃんを育てる時はお腹が空いていなか、なぜぐずっているのかなど、気持ちを察してあげることが求められます。それと同じように、女...

性は家庭や職場でも男性に対して「世話をする」ことが期待されているというのです。

「世話をする」こと自体は悪いことではありませんが、他者を優先してばかりいると不満がたまっていつか爆発してしまいます。逆に「世話をしてもらう」側ばかりにいると、それが当たり前になり相手の気持ちに鈍感になってしま...

います。どうしたら相手の気持ちを理解し合うことができるのでしょうか。

「話す」と「聞く」

「話す」と「聞く」

そのヒントはこの句の中にあると思います。おかしいと思つたら「ちよつと待って」と「話す」と、立ち止まって相手の言葉を「聞く」ことです。そんな簡単なことかと思ふかもしれませんが、実際やってみるとなかなか難しいのです。相手の顔色を見たり、口ごもつて言えなかつたり、素直に聞けなかつたり。批判するのは好きなのに批判されるのはイヤ。そんな自分が見えてきます。「私はあなたがいないと、寂しい」なんて言うのはめちゃくちゃ勇気が要ります。でも「そういうことに寂しさを感ずる人だとは知らなかつた」とあらためて相手の気持ちを知らることになるかもしれません。波風が立つかもしれないませんが、そこから第一歩。あなたも始めてみませんか。

今回は酒井義一さんの「私を照らすひかりの言葉⑧」です。



問 「花まつり」の由来は？

答

花まつりとは、今から約二五〇〇年前にお生まれになった、お釈迦さまのご誕生(旧暦4月8日)を祝う仏事です。「灌仏会」や「降誕会」とも言われます。

色とりどりの花御堂の中心に安置されたお釈迦さまの像(誕生仏)に、柄杓で甘茶をかけるのは、お釈迦さまの誕生を祝うようにたくさん咲いたといわれる花と、産湯の代わりに降り注いだ甘い香りの雨に由来します。また、白い象も、お釈迦さまのお母さんが、お釈迦さまを身ごもる前に見た夢に出ています。おかざりのそれぞれが、

お釈迦さまのご誕生に由来するのですね。

お釈迦さまはお生まれになってすぐ「天上天下唯我独尊」(天上天下に、唯、我独りにして尊し)と言ったと伝えられています。このお言葉は「誰もが、誰とも比べることのできない、たった一人の、尊い命をいただいで生きていることに気付いてほしい」という、お釈迦さまから私たちにへの呼びかけなのでしょう。

お釈迦さまのご誕生をお祝いすることを、教えに出遇えた喜びを感じながら、私の誕生を思い、いた

だいでいる命の尊さに目覚めていく仏事、それが「花まつり」と呼ばれるお祝い

の日なのです。

お釈迦さまのご誕生をお祝いすることを、教えに出遇えた喜びを感じながら、私の誕生を思い、いただいでいる命の尊さに目覚めていく仏事、それが「花まつり」と呼ばれるお祝いの日なのです。



昭和30年焼失直前の高山別院本堂

古い写真・資料を探しています!

ひだ御坊(高山別院)では、別院や別院周辺の古い写真、資料を探しています。もし、お持ちの方があれば、高山別院までご連絡ください。

電話(0577)32-0688

大谷婦人会高山支部 創立100周年記念大会

大谷婦人会は明治23年に創立されました。高山支部は全国に300ある支部のひとつです。

高山支部では本年創立100周年を迎えるにあたり、大谷妙子会長ご臨席のもと、記念法要をおつとめします。ぜひお参りください。

日時 5月11日(月) 午後1時~午後4時(受付 正午から)
会場 高山別院本堂
内容 記念法要、式典、法話
講師 大町慶華 高山別院輪番
参加費 無料
どなたでもお参りいただけます

公開講座 現代と真宗

沖縄問題と真宗

今年の公開講座「現代と真宗」は、戦後70年を迎えるにあたって、あらためて平和の問題を学びます。

沖縄県読谷村より知花昌一氏をお招きし、辺野古の基地建設問題など、ご自身が沖縄の地で平和運動に関わる中で明らかになった国家や私たちの責任について語っていただきます。

私たちはどのようにこの問題を考え、どのような姿勢を持ち、行動をすればいいのか。浄土真宗の教えを通してこの問題を学びたいと思います。

講師 知花 昌一(ちばな しょういち)氏
(沖縄県在住・平和運動家・沖縄別院衆徒)

日時 2015年 5月12日(火)
午後7時~9時30分

会場 高山別院御坊会館

聴講 無料